

生産記録(冬期湛水管理)

有機質肥料施用あり、畦補強等実施

有機質肥料施用あり、畦補強等の実施なし

有機質肥料施用なし、畦補強等実施

有機質肥料施用なし、畦補強等の実施なし

農業者団体の名称	環境保全型農業推進協議会	記入例
農業者名 氏名又は法人名	かしわざき たろう 柏崎 太郎	

当てはまる取組内容にチェックしてください。

ほ場番号	作物名(5割低減)	備考	生産記録番号
15~20	水稲 (コシヒカリ)	水稲の場合は品種名も記入してください。	1-4

「(何枚目) / (総枚数)」と記入してください。

1 冬期湛水管理 ※ 取組ほ場の実績をまとめて記載することにより、2か月間の湛水期間が書面上で確認できない場合は、別紙(様式任意)を作成し、ほ場ごとに報告してください。

(1) 主な作業 (各措置について、実施した活動の月日を記載してください)						(2) 湛水期間		
取水措置	実施時期	畦補強等の漏水防止措置	実施時期	定期的な水位管理	実施時期	湛水開始時期	実施時期	備考※
①地下水をくみあげ	R5.10.5~随時	①湛水開始前の畦塗り	R5.10.2	①定期的なほ場巡回による水位の確認	10/5~12/10 (随時2回)		R5.9.30	湛水期間は2カ月間以上必要です。
②排水路の水をくみ上げ		②畦畔シートの設置		②取水による水深の確保	10/5, 11/3, 11/13, 11/30		R5.12.2	
③水権のある農業用水からの取水		③定期的なほ場巡回による畦畔等の補修	随意	③その他(具体的記載すること)		湛水期間	64日	
④その他(具体的に記載すること)		④漏水防止を目的とした秋代かき	R5.10.5			注)ほ場毎に実施時期がことなる場合は、別紙に整理してください。		
()		⑤その他(具体的記載すること)						
()		()		()				

(3) 有機質肥料の施用(冬期湛水管理の直前又は湛水期間中)					
資材等の名称	使用時期	使用量(kg/10a)	購入金額(円/10a)	備考	
菜種かす	R5.10.10	40 kg/10a	2,600 円/10a	単価@1,300	円/袋 × 使用数量 2 袋/10a
発酵鶏糞	R5.10.10	30 kg/10a	400 円/10a	単価@200	円/袋 × 使用数量 2 袋/10a
		kg/10a	円/10a		円/袋 × 使用数量
合計			3,000 円/10a		

○有機質肥料とは、「有機質資材を原料とした肥料(有機質資材以外が原料として含まれている肥料は含めない)」をいいます。
 ○施肥基準を上回るような過剰な施用とならないよう注意してください(無理に施用しない)
 ○施用した肥料の購入金額の合計が3000円/10a以上でないと、「有機質肥料の購入・投入実態がない場合」に該当します。

2 栽培管理(5割低減の取組) 注)同一作物で複数ほ場において取組があり、栽培管理の内容が同じ場合は、栽培管理が生産記録番号

(1) 作業工程	
作業名	実施時期(月日)
播種	4月20日
定植	5月10日
収穫(終了日)	9月15日

作業実施時期に幅がある場合は、○月○日~○月○日と記入してください。

小数点以下第3位まで記載する。小数点以下第4位までは切り上げ

培土で窒素成分割合を「%」ではなく「〇g/箱」と書いている場合、1箱当たりの育苗培土の使用量を備考欄に記入してください。
 【例1】ホーネンス培土1号は窒素割合が1.3g/2.8kg(=0.04643%)。この%数値は切り上げずにそのまま計算であることから、使用量が2.8kg/箱でない場合、窒素割合1.3g/箱とは書けない。
 【例2】セルシオ1号は窒素割合が0.05%。

【使用肥料等】(1(3)の有機質肥料以外)						
資材等の名称	化学肥料窒素成分の割合(%)	使用時期(月日)	使用量(kg/10a)	うち、肥料窒素成分(A)	単価の5割低減の水準(B)	備考
稲わら秋すき込み	0.00%	令和〇〇年9月25日	全量	0.000		
ホーネンス培土1号	1.3g/箱	4月20日	18箱	0.024	2.8kg/箱	
ペントウ肥	8.00%	5月10日	0.3	0.024		
ケイカル	0.00%	4月20日	120	0.000		
エコ・5-5専用元肥	4.80%	5月10日	30	1.440		
エコ・5-5専用巻肥	7.50%	7月15日	10	0.750		
味好2号	0.00%	7月25日	10	0.000		
						柏崎地域は【水稲】 わたぼうし } 3.5 こしいぶき } 越路早生 } ひとめぼれ } 上記以外 3.0
合計			2,238	3.0		

全ての資材について、チラシ・カタログ通りの名称を記載ください。化学窒素の成分量がわかるパンフレット(堆肥等の自給資材は申し立て書)等を提出ください(JAの取扱資材は、原則不要)

登録内容に合致した使用時期であることがわかるように記載してください。(特に、初期除草剤や後期除草剤の移植後日数や収穫前日数の使用制限)

化学合成農薬成分回数が「0」のものについては、「0」を記載してください。

一部の資材がほ場で異なる場合、備考にその旨記載ください。

ほ場No3のみ

柏崎地域は、【水稲】8

3 農業者団体への提出・保管する書類 書類名の□に、■または✓を入れる。

漏水防止の措置状況がわかる写真(本年度取組に向けて新たに措置を行った場合)

有機質肥料の購入伝票等

出荷・販売伝票(10アール未満の取組の場合)

※ 購入した有機質資材と無償の有機質資材を原料とした自給肥料の場合は、原料の種類・量・購入金額、製造場所、製造した肥料の量等を記載した書類を保管すること。

